

特集
東京都・都政

「今、都政に求められるもの」

宇都宮 健児

このような「社会保障の貧困」や「労働政策の貧困」を解決できないのは、わが国の「政治の貧困」の結果です。

二．都政の役割とは

地方自治法では、地方自治体の役割を「住民の福祉の増進」と定めています（地方自治法第一条の二第二項）。東京都も一つの地方自治体ですので、都政の役割は、外国人を含む都民一人ひとりの命と暮らしを守ることにあります。

二〇二〇年度の東京都の予算は、一般会計の総額が七兆三五四〇億円、特別会計・公営企業会計と合わせると一五兆四五二二億円となり、スウェーデンの国家予算を超えています。この潤沢な予算を都民生活のために重点的に使っていけば、貧困と格差の拡大を解消し、都民一人ひとりの生活を豊かにしていくことが可能になります。

三．今、都政に求められるもの

今都政に求められている課題は、次に述べるような課題です。

一．わが国では

貧困と格差が拡大している

厚生労働省が発表した二〇一五年のわが国の相対的貧困率によると、国民の六人に一人が、こどもの七人に一人が、一人親世帯の二世帯に一世帯が貧困状態に陥っています。わが国は世界第三位の経済大国にもかかわらず、多くの先進国が加盟するOECD（経済協力開発機構）の中でも貧困率が大変高い国となっているのです。

わが国で貧困と格差が拡大している背景には、「社会保障の貧困」と「労働政策の貧困」があります。

生活保護制度は、生存権を保障した憲法二五条を具体化した制度ですが、生活保護を利用する資格のある人のうち現に生活保

護を利用している人の割合（捕捉率）は二割にとどまっています。昨年の一二月二四日クリスマススイブの日、都内江東区北砂の集合住宅で男性二人の遺体が発見されました。亡くなったのは、この部屋に住む七二歳と六六歳の兄弟で、体重は兄が三〇キロ台、弟は二〇キロ台しかなかったという事です。料金の滞納で電気やガスが止められていて、水道も止められる直前でした。兄弟とも当時は無職で年金はなく無収入の状態でしたが、江東区によると二人の兄弟から生活保護の申請や相談はなかったということでした。

非正規労働者は年々増加し、現在では二一〇〇万人を超えて全労働者の約四割となっています。また、年収二〇〇万円以下の低賃金労働者は一二年連続で一〇〇〇万人を超えています。

① 学校給食の完全無償化（子どもの貧困をなくす）。

韓国では七〇%以上の小中学校で給食の完全無償化が実施されており、ソウル市では二〇二二年までにすべての小・中・高等学校で給食の完全無償化が実施される予定となっています。日本では、給食の完全無償化を実施している自治体は、全自治体の四・四%にとどまっています。

② 義務教育の完全無償化（修学旅行や教材なども無償にする）、すべての高校の所得制限のない授業料の無償化、夜間中学・夜間定時制高校の拡充、都立大学・専門学校などの授業料の半額化または無償化（誰もが学べる都政を実現する）。

③ 都営住宅の新規建設と家賃補助制度・公的保証人制度の導入、原発事故避難者に対する住宅支援（住まいの貧困をなくす）。

④ 公契約条例の制定、非正規労働者を減らし正規労働者を増やす（働く者の貧困をなくす）。

⑤ 都立病院（八病院）、公社病院（六病院）の独立行政法人化（実質的な民営化）に反対する（都民の命と健康を守る）。

⑥ カジノ誘致に反対する（人の不幸を踏み台にする経済政策はとらない）。

⑦ 災害対策（防災・減災・避難者対策など）を強化する（自然災害から都民の命、財産を守る）。

⑧ 温暖化対策（CO₂の排出削減、自然再生エネルギーの充実など）を抜本的に強化するとともに緑と都市農業を守る（地球環境、自然環境を守る）。

⑨ 道路政策（外環道、特定整備路線）を見直す（地域住民の意見に耳を傾ける）。

⑩ 保育士・介護労働者の労働条件を改善し、認可保育園・特別養護老人ホームを充実させる（待機児童、待機高齢者をなくす）。

⑪ 視覚障害者の転落防止のためのホームドアの設置、障害者差別のないバリアフリーのまちづくり（障害者の権利を守る）。

⑫ 羽田空港新ルート低空飛行の実施に反対する（都民の命と暮らしを守る）。

⑬ ヘイトスピーチ対策の強化、朝鮮学校への補助金支給の再開、関東大震災朝鮮人犠牲者の追悼式への都知事の参加、同性カップルのパートナーシップ制度の導入など（外国人を含む都民の人権を守る）。

⑭ 出前福祉制度を導入する（江東区兄弟餓死事件のような悲惨な事件をなくし、福祉の行きとどかない死角地帯をなくす）。

ソウル市では、福祉担当者が生活困窮世帯を訪問する出前福祉制度が創設されており、それまで二割だった生活保護の捕捉率が六割まで上昇しています。

⑮ 都民が一定額の予算の使途を提案し、その提案に対する都民の投票の結果を受けて、都民の代表が予算の使途を決める「都民参加予算制度」を導入する（都民参加型の都政へ転換する。このような制度は、既にソウル市において実施されています）。

⑯ 横田基地へのオスプレイ配備に反対する（都民の安全と暮らしを守っていく）。



特集
東京都・都政

大阪「都」構想とは何か

立命館大学 森 裕之

一・大阪都構想の政治状況

「大阪都構想」という言葉はすでに全国に知られています。二〇一五年五月に行われた大阪市での住民投票で、その認知度はピークに達しました。それを主導してきたのはタレント弁護士出身で元大阪府知事・市長の橋下徹氏（大阪維新の会）でした。当時の政治情勢からは「奇跡」ともいえる住民投票での否決によって、大阪都構想は葬り去られたはずでした。しかし、同年一月に行われた大阪府知事・市長のダブル選挙で維新の会の候補が勝つたことよって、大阪都構想が再び政治の舞台に現れました。当時彼らは「大阪都構想」を争点から隠し、代わりに「副首都」という意味不明な単語を連呼しました。残念ながら、こ

れに住民が反応したことで、再び大阪はこの騒動に振り回されることになったのです。なぜ維新の会はここまで大阪都構想にこだわるのでしょうか。これについては、さまざまな政治的・経済的利権が巣くっていますが、最も大きなものは維新の会が設立目的を大阪都構想の実現においている点です。平たくいえば、「最初に言ったからやるのだ」という稚拙な理由によるものです。さらにいえば、それによって政治的実行力（≠議論）を誇示したいのです。こうして日本の政治権力の中枢に入り込みたいというのが、彼らの政治意図にほかなりません。このように断定できるのは、彼らが主張する大阪都構想には住民にとって制度上のメリットが何ら存在しないからです。とくに大阪市からみればまさに「百害あって一利なし」です。次にそれについてみていき

ましよう。

二・劣化・複雑化する行政

大阪都構想の内容は変遷してきていますが、現在の案をもとに中身をまとめると、①大阪市を廃止する、②廃止した大阪市を四つの自治体に分割する、③四つの自治体は特別区にする、というものです。ここでいう特別区は東京二三区と同じもので、行政的・財政的仕組みも東京都のものをほぼそのまま引き写しています。

では、特別区とは何でしょうか。その本質は、都道府県に権限・財源を奪われる従属自治体という点にあります。特別区は普通の市町村が持っている権限・財源の多くを都道府県に握られ、その意向に沿ってしか行政財政活動を遂行できない「特別地方公共団体」です。これを大阪府に即して具体的にみていきましょう。

現在の案では、大阪市の二九二三事務と大阪府の一六六九事務を合わせた四五九二事務を整理し、それらを特別区（旧大阪市）に二四一二事務、大阪府に二〇八九事務に再配分します（合計の差は終了する事務）。

特別区となる大阪市が失う事務は、都市計画、港湾、交通・インフラ、産業政策、高等学校・大学、観光・文化・スポーツ振興などの大都市特有の分野です。特別区に配分された事務のうち一六七事務は特別区の共同事務となり、その多くは特別区全体で設置される「一部事務組合」で行われます。さらに、各特別区で実施する二二四五事務のうち一七四事務を二四の「地域自治区」で実施します。

一部事務組合は「自治体同士がつくる自治体」であり、東京二三区では清掃組合、競馬組合、人事・厚生組合などしかありません。しかし大阪の場合には、介護保険事業、児童養護施設、生活保護施設などの福祉分野、文化・スポーツ分野、各種情報システムなど様々なものがあります。一部事務組合の問題点は、その行政に関する実質的な議論や改革ができないことです。つまり、それを構成する各自自治体の意思が事実上反映できなくなり、大阪では特別区でつくる一部事務組合で一〇〇以上の事務を行うのですから、各特別区は行政責任の多くを投げ出してしまふことを意味します。また地域自治区とは、自治体が地域住民の

声を反映させるために内部の区域に設置するもので、この制度の本来の目的は市町村合併で吸収される旧自治体地域での自治的部分的保障にありました。大阪市には二四の行政区があるのですが、それらをそのまま地域自治区にしてしまおうというのです。そのため、基本的には現在の各区役所は地域自治区の事務所になります。

以上を整理すれば、大阪府―特別区―一部事務組合―地域自治区がピラミッドのようになり、現在の大阪市のもつ事務を分掌することになります。これは住民からすれば複雑さわりなく、こんな仕組みをもった自治体は国内には存在しません。なぜこんなことになるのかというと、歴史的な大都市である大阪市を無理矢理に廃止・分割・特別区化するからです。大阪市からみれば、こんな統治機構の改革には何のメリットもありません。

三．奪われる財政自治

大阪市にとってさらに重大な問題は、財政の自治を喪失してしまうことです。

東京二三区と同じように、大阪都構想に

よって大阪市の市民税（法人分）と固定資産税という大都市の基幹税が大阪府税に変わります。さらに東京二三区よりも深刻なのは、大阪市が国から毎年度配分される地方交付税等も大阪府の財源にされてしまうことです。

これらの税金や地方交付税等は一般財源といわれる自治体歳入の根幹です。大阪府が大阪府に奪われる一般財源は、総額八六〇〇億円のうち五六六〇億円と三分の二を占めます。これに連動して、国の補助金や地方債も大阪府の方へと移転されることになります。大阪府が失う財源がいかに大きいかがわかれると思います。

しかし、これでは特別区の行政が全くできなくなり、そのため、大阪府から特別区へ毎年度「財政調整交付金」として、制度的に収奪した財源の一部が再分配されることとなります。この仕組みは東京都の都区財政調整制度と同じものです。大阪都構想の開始時には大阪市の一般財源全体の七八%が特別区、二二%が大阪府へと最終的に配分されるとしていますが、この割合は大阪府議会でも年度ごとに決定されます。その際に、特別区への財源配分が有利にな

ることはありえません。なぜなら、大阪府議会の議員は府内人口比率に応じて特別区からは三割しか存在せず、それ以外の七割は他の市町村からの選出になっているからです。これは東京都議会における二三区とそれ以外の自治体の議員構成比とちょうど反対になります。毎年度財源を減らされる特別区は、残された行政分野である福祉や教育の削減を進めていかざるをえなくなるのです。

問題はこれにとどまりません。財政調整交付金は特別区全体に対して交付されるので、実際にはこの全体のパイを四つの特別区の間で分け合うこととなります。これは、未来永劫にわたって特別区間で血みどろの争いが繰り広げられることを意味します。特別区にはもともと経済的・財政的格差があり、富裕な特別区では本来の一般財源よりも少ない財源しか残らない一方で、そうでない特別区は逆により多くの財源を受けることとなります。

特別区は曲がりなりにも独立した自治体ですから、このことは自分たちの税金等を他の自治体の住民に回していることを意味します。わかりやすくいえば、A市の税金

がB市へと譲渡されるようなものであり、A市の住民からすれば「そんな金があるのなら、自分たちのサービス向上のために使ってくれ」ということになるでしょう。東京二三区は富裕団体が多く、歴史的な経緯もあるもので、いまだに相互に支え合っています。それでも、特定の特別区からはこのような仕組みに対する不満の声が上がってきます。そこから考えれば、財政的に厳しい大阪の特別区がこのような制度によってどんな苛烈な政治状況に放り込まれるかは火を見るより明らかです。

四・政治的問題

前回の住民投票の時もそうでしたが、維新の会の卑劣な政治手法は目を覆うばかりです。例えば法定ビラで「大阪市は潰れません」「大阪市をバラバラにはしません」と大々的に嘘を宣伝したり、グラフの改ざんや自治体比較の意図的操作を通じて住民を欺いたりなど、真つ当な政治感覚や常識では考えられないやり口がまん延しました。さらに、反対するマスコミや学者などに対してはSNSや文書であからさまな恫喝を

行うなど、市民社会の存立基盤を破壊するような行為を繰り返しました。残念なことですが、それらの政治行為が虚無的で鬱積した住民感情に働きかけることで、維新の会が政治勢力を伸ばしてきたのです。

筆者が最も恐れているのは、そのような悪しき全体主義が今後日本全体へと広がることです。とくに懸念されるのは、新型コロナウイルスの感染拡大の中で、連日のように維新の会のリーダーである大阪府知事・市長、さらには橋下徹氏がマスメディアに登場し、彼らのパフォーマンスが垂れ流されていることです。歴史が繰り返して示してきた重大な教訓は、社会全体がパニックにある状態においては、先鋭的な大衆扇動を通じた全体主義が一気に広がることです。これは衆愚政治という民主主義の自殺にほかなりません。この秋に予定されている二度目の大阪都構想の住民投票で賛成派が勝てば、このような維新政治が瞬く間に全国へと広がるでしょう。

大阪都構想の真の問題はこのような全体主義の恐怖にあるのです。



スター 東村山の星が 消えた

vol. 83

神子島 健
(かごしま・たけし)

「いつもの公園は、このところ子どもが多い。コロナウイルスによる緊急事態とやらで学校も休み。三月初めからずっと休みの子どもたちが遊び場を求めてやってくる。密集せずを外遊びをするのは子どもにとって必要なことで、今の状況で許されるべきものだが、非寛容な動きもあるらしい。」

子どもたちに場を譲って、最近の吾々は公園の端の繁みからさらに少し奥まった、ちよつとした木立のある人間の立ち寄らないスペースにたむろしている。夕方、カラスが動き回っているのをトラさんが見ている。相棒(人間)の仕事がキャンセル続きで、珍しく長めに日野にとどまっているにや。「カア、カア」と鳴いて飛んで行ったカラスに、チーちゃんがふと「食べ物もらへんところになんでおったんやるか」とつぶやく。トラさんが

「カラスの勝手でしょ」と返すとチー子と弥生ちゃんはボカんとしている。しばし沈黙である。

「おい、おい。わざわざ話題のネタを振ったんだから、なんかリアクションしてくれよ」とトラさんが言う。「え、ネタやったん?」「え、知らねえのか? ニユースで話題の志村けんの有名人ネタじゃねえか」「コロナで亡くなった芸人さんやな。カラスが何やの? タマちゃん教えて」

「ザ・ドリフターズの『8時だよ! 全員集合』という番組での持ちネタで、一九八〇年頃、「七つの子」をもじって(カラスが鳴くのは)「カラスの勝手でしょ」と歌って、それが子どもの間で大うけしたのだ。あれが本当の(七つの子の)歌だと思っていた子ども多いらしいにや」

「一九八〇年頃って、ウチらのひいばあちゃんすら影も形もな

い時期やん(ネコは早いと一歳ちよつとで子どもを産む)」

「トラさんもよく知ってたにやあ」「オレの弟分(人間)が、『全員集合』好きでな、移動の車の中でよく番組のDVD見てるからな(注、車を運転しながら画面を見るのはやめましょう)」

「タマちゃんも多摩研の人たちが見てて覚えたの?」とヤヨが聞いて来る。吾輩は苦笑いしつつ、「ちがうにや」。多摩地域の東村山出身の有名人だから、一時期調べたことがあるのだから、「ネコがどないして昔のお笑い調べんの?」

「当時、子どもは土曜の夜を心待ちにしていたようだにや。全員集合は、よく、全国PTA協議会の「子どもに見せたくない番組」トップになった「無視かい」「なんで人気だったの?」と弥生ちゃんが聞いて来る。「この間、多摩研の面々が事務所で議論し



「全員集合」の名物コーナー、ひげダンス。

ていたが、権威をコケにする笑
いだったから、一部の大人には
気に入らないし、子どもには受
けたのだろうにや」あれだろ、
チョーさん（いかりや長介）に悪
さするやつだ」

「そう。リーダーのいかりやさ
んは、いわば厳父のような立場
で、母親役の時でも慈母でなく
怖いかあちゃん」だったにや。

さんの行動を緊張の中で見守り、
そこから生まれるイタズラやへ
マが大きな笑いになる」ふーん
子どもには大きな存在やったん
やな」

「そう。この構造とほぼ重なる
こととして、カトちゃんの人タ
の「ウンコチンチン」なんかがあ
って」「なんやいきなりタマチャ
んからそんな発言ビツクリや

叱りつけ、他のメ
ンバーを規範に従
わせようとするリ
ーダー像に対して、
「そんなルール知
らないもーん」と
自由にふるまい、
リーダーをコケに
するのが加藤茶さ
んであり、志村け
んさんであった。
そこに子どもは同
一化（identity）し
たのだにや。志村

わ」立派な笑いの分析だにや。
志村さんや加藤さんから「下ネ
タ」が出てくるのも、権威の側
にある人には嫌がられ、子ども
は喜ぶところだにや」

「子どもはウンコが好きなん
か？」「まあ、ウンコが好きとい
うよりも、日常の中で必ずある
ものなのに、まさに「はばかり
」ことばで表に出してはいけな
いことばとされている。それを
子どもに内面化させるために権
威が押さえつける面がある。子
どもたちはそこを敏感に感じ取
って、使ってはいけないタブー
を破ることに快感を覚えるので
はニヤいか」

「なんやウンコがえらい硬い
話に化けたな」「便秘か？」「ア
ホ」とチー子はトラさんに軽く
ネコパンチを食らわせる。弥生
ちゃんは爆笑しているにや。
「今であれば売れっ子タレン
トや芸人が、首相と一緒に食事

をしたりしているが、俗悪と言
われてもそれを貫く当時売れっ
子のドリフターズが、権力者と
一緒になんてあり得ニヤかった
だろう。それはテレビの現場が
権力と緊張関係を保っていたこ
ともつながるだろうにや」

「さて、一九八五年に全員集合
が終わり、翌年から「加トちゃん
ケンちゃんごきげんテレビ」（カ
トケン）が始まったにや。俺た
ちひょうきん族」など、若い世代
の芸人の台頭に対抗するため、
ドリフの中の若手二人である志
村さんと加藤さんで新しい番組
を始めたわけだにや」「チョーさ
んがいなくなったらさつきの話
と変わっちゃうじゃん」「ヤヨ、
どういうことや？」「チョーさん
という権威がいなくなったら、
子どもが同一化するという笑い
の取り方が変わるわけでしょ」
「その通り、鋭い。八〇年代後
半、カトケンのほか、「志村けん



最近友達になったツーちゃんだにゃ。

のだいじょうぶだあ』(フジテレビ)など、志村さんは上に立って番組を中心に作っていく側になる。もちろんそこで自分が「アホな役」を演じるから、子どもに人気があったのは間違いニヤいが、眼前にチヨーさんのような存在がいニヤいので、笑いの取り方も変わらざるを得な

い「ふーん、どうやったの?」
「全員集合のコントは、劇場でのリアルタイムの舞台で、観客との一体感があった。志村さんに子どもが感情移入する力を最も発揮しやすかったと言えるにゃ。対してカトケンなど、スタジオオの撮影が中心の場合、カメラが寄れる(人物をアップで撮れる)ので、そこでの何

気ない会話や細かい表情を洗練させた面もあると言える。「身近な面白い親戚のおじさん」みたいな感覚だと、ある人が言っていたにゃ」「タマちゃん、いつそんなテレビ見る時間あんの。ホンマは百年くらい生きてるんちゃう?」
「ただしカトケン は、スタジオだけで

ニヤク、ロケで大がかりなカーアクションを多用するなど、テレビという媒体をフルに使ったお笑いエンターテイメントを作ろうとした面もあったと思うにゃ。ちなみに横浜の緑山スタジオオで撮っていたので、近くの多摩ニュータウンでもよくロケをしていたと、ニュータウン育ちの坊主頭が言っておったにゃあ」

「すごい人やったんやなあ」
「ただ、特にカトケン以降は、ハプニングで女風呂に乱入したり、今日だったらセクハラで放映できニヤいのはというようなものも結構あって、亡くなってからも、そこに対する批判は出ているにゃ」「あら、そう」
「時代によって笑いは変わると、今日だったらあり得ないと、認識が(一応)、二〇年ちょっとで変わったことはポジティブに考えればいいにゃ」「前向きやね。

志村さんのフォローにはなってへんけど」

「たぶん、彼はスケベオヤジ流の男女観があつて、ただそれはマツチヨあるいは権威主義的な男でニヤク、しがなくもてないおじさんのスケベさの恰好悪さを笑いにしていただけにゃ。最近の『隣のシムラ』(NHK)は、それに対する自己相対化を一層進めたものではなかったか」「自分が弱いと思ってるおじさんはタチが悪いこともある」「キビシイにゃあ」

「どつかのスケベおやじにも自己相対化の視点を持ってもらいたいもんや」とチー子がトラさんをちらつと見る。「これだよ、いつも上から目線で俺をいびるんだから参っちまう、ダメだこりゃ」

今頃、志村さんは天国でチヨーさんとネタ合わせしているところかもしれニヤい。



NPO法人 多摩住民自治研究所

設立50周年に向けて、読者のみなさまから投稿を募集いたします。これまでの多摩研の思い出やエピソード、そしてこれからの多摩研に期待することなどを事務局までお願いします。



ともに祝おう50周年！ みんなでひろげようタマケンの和！

編集誌
ひまわり
ふたご

新型コロナウイルスの感染症が広がるなかで、多摩住民自治研究所も今年度の日程を大きく変更することにいたしました。

四月・五月の講座も中止になり、事務局に集まる会の会議なども難しく、WEBを活用したビデオ通話や、テレワークの導入を開始するなど、今までとは違う新しい環境の構築に戸惑うばかりです。

大手家電メーカーの「シャープ」が工場のクリーンルームを活用してのマスクの生産、販売を開始したものの、購入のための会員登録を処理するサーバーが同社のIoT家電のためのサーバーと処理を共有していたためか、マスク購入のため大量の申し込みを受け付けた結果、一時的にエアコンや空気清浄機の操作ができなくなるなど、パンデミック状態の感染症は、さまざまな方向に影響を与える事を痛感します。

先月の「新型コロナウイルス対策をどう組み立てるかに引き続き、今月号ではその第二段と、「緊急事態宣言」に関する多摩住民自治研究所の声明文、そして、投稿作品『ウイルス禍』(表紙)を掲載しました。逼迫する医療・福祉の現場や市民生活の現在、みなさんの思いや感性を発信していきたいと思っています。ぜひお寄せください。

(事務局 松川 暎)

財政研究会のお知らせ

【次回未定】

第61回 学習会

テーマ

「日野市の財政危機宣言について」

報告者：検討中

日 時：~~4月11日(土)~~

~~14:00~~~

場 所：~~多摩住民自治研究所~~

参加費：~~300円~~



多摩住民自治研究所

3月の活動

- ・ 5日(木)「緑の風」編集委員会
- ・ 7日(土)2019年度第4回理事会
- ・ 11日(水)動画配信打ち合わせ
- ・ 12日(木)事務局内研修会
- ・ 17日(火)~19日(木)
春の講座チラシ発送
- ・ 19日(木)教育研究会準備会
- ・ 30日(月)『緑の風』印刷丁合
- ・ 31日(火)『緑の風』発送